

## 決議のポイント

- 現在用いられている参議院の英語表記では参議院が日本国会の一院であることが派遣訪問先等で十分に理解されず、活動を行う上で支障となるとの指摘を踏まえ、参議院において、参議院及び参議院議員の英語表記の在り方について、国際社会の状況等を慎重に勘案しつつ検討を行うべき
- SDGs達成のため、国際会議等においてリーダーシップを発揮するとともに、特に、「質の高い成長」の重要性に関する認識が共有され、それに向けた国際協調が実現するよう国際的議論を主導するべき
- 開発途上国における自立的発展を実現するため、「質の高いインフラ」の国際スタンダード化に向けて国際社会における議論を主導し、「パリ協定」にもとづく温室効果ガスの排出実質ゼロの達成に資するよう取組むとともに、社会セクターへの支援を拡大し、後発開発途上国（LDCs）への援助の比重を高めるべき
- アフリカにおける民間投資の増加のための環境整備に取り組み、従来以上に開発支援を重点化するとともに、TICAD等を通じて現地のニーズを把握し、NGOとの連携を密にして、一層効果的な支援を展開していくべき
- インド太平洋が安定と繁栄をもたらす自由で開かれた海洋となるよう、地域の国々が相互に連結性を強化していく取組を推進するとともに、他国への開発協力の進め方、「中進国の罠」など新たな問題への取組など、対話を通じ、認識の共有が図られるよう協力していくべき
- 世界の貧困の更なる削減のため、産業の振興、ジェンダー平等の実現、公平な社会の実現などの取組を推進するとともに、食糧問題の解決のため、高度な先端技術や経験をいかし、農業分野へのODAの増加に努めるべき
- 膨大かつ多様化するニーズに対し、効率的かつ効果的な支援を展開していけるよう、多様な主体の役割分担を明確化し、より効果的な取組が行えるような体制の構築に向けて支援を行うとともに、NGOがしかるべき役割を果たせるよう、NGOの財政基盤の強化のための必要な予算措置を行うべき
- 開発途上国に中小企業を含む民間企業がより積極的に進出し、途上国の持続的成長に貢献し、我が国の成長にも寄与し得るよう環境整備に努めるとともに、民間企業の海外展開に対する支援については、その活動が労働条件等人権を尊重したものであることを確認しつつ行うべき
- 地域レベルでの国際的な協力に、地方自治体がより積極的に取り組めるよう支援を強化するとともに、我が国における多文化共生の取組が求められていることも踏まえ、相手国の理解を得た上で、日本語教育支援も充実させていくべき
- 我が国の「顔の見える援助」を担うJICA海外協力隊員について、教育機関と連携した効果的な募集活動等に加え、安全確保対策の強化や帰国後の進路支援、現職参加

制度の周知・充実等に取り組むべき

- SDGsやODAの意義等に関する国民の理解がさらに進むよう、広報活動のみならず、学校教育における学習等も含め施策の拡充を図るべき
- 限られたODA予算が適切かつ効果的に執行されるよう、各ODAプロジェクト等の評価をしっかりと行い、それを次年度以降の事業実施に反映するよう努めるとともに、JICAの予算執行管理等の問題が生じたことに鑑み、十分な原因分析を行い、再発防止に向けた対策を徹底するべき
- SDGs達成に向け、対GNI比でODAを0.7%とする国際的目標の実現に取り組むとともに、国際連帯税等の革新的資金調達メカニズムの検討において、我が国が議長国を務めるG20などの機会も活用し、議論が行われるよう努めるべき